

胃部X線（バリウム）検査を受ける方限定



「胃がんリスク検査(ABC分類)」を受けることができます。

「胃がんリスク検査（ABC分類）」とは？

血液検査の次の二つの値によって、胃がんになりやすい状態（胃の健康度）を判定します。
※この検査は、胃がんの有無を調べるものではありません。

- ① ヘリコバクター・ピロリ菌感染の有無
ピロリ菌とは、胃の中にすんでいる細菌です。胃酸の分泌や胃粘膜の免疫機能の働きが不十分な幼少期（5歳前後）までに感染すると考えられています。
- ② ペプシノゲン値（萎縮性胃炎の診断）
ペプシノゲンは、胃粘膜にある消化酵素のもとになるもので、血液中のペプシノゲンの異常は、胃粘膜萎縮(萎縮性胃炎など)があることを示します。

総合判定	異常なし	要精密検査		
	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン検査	陰性	陰性	陽性	陽性
ピロリ菌検査	陰性	陽性	陽性	陰性
胃の状態	正常な胃	正常な胃にピロリ菌が感染している状態	胃粘膜の炎症をおこし少し胃が萎縮している状態	胃粘膜の萎縮が進みピロリ菌が胃に棲息できない状態
胃がん発生のリスク	小	大		

※B・C・D群と判定された場合は、精密検査（胃内視鏡検査等）を受診して下さい。



対象者

40歳以上の匝瑳市民の方で、胃部X線（バリウム）検査を受ける方。

対象外の方

- ① 明らかな上部消化管症状がある方（胸やけ・胃痛・胃もたれ・食欲不振など）
- ② 過去に胃がんリスク検査を受診済、またはピロリ菌除菌治療を受けたことがある方
- ③ 現在、食道・胃・十二指腸疾患で治療中の方
また、胃酸分泌抑制薬（プロトンポンプ阻害薬）を服用中または、2ヶ月以内に服用されていた方
- ④ 胃を切除されている方（部分切除の方も含みます）
- ⑤ 腎不全の方、もしくは透析中の方
- ⑥ 免疫不全または免疫抑制剤・ステロイドを服用中の方
- ⑦ 過去2ヶ月以内に抗生剤を服用されていた方

自己負担金

3,200円

※ 70歳以上の方、生活保護世帯の方も料金がかかります。

受診方法

- ・胃がん検診会場で、検査希望の旨をお申し出ください。
- ・ご希望の方は、当日「胃がんリスク検査問診票」を配布します。